

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-18841

(43)公開日 平成9年(1997)1月17日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所	
H 0 4 N	7/025		H 0 4 N	7/08	A
	7/03			5/445	Z
	7/035				
	5/445				

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平7-167222

(22)出願日 平成7年(1995)7月3日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 吹田 恭子

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 渡辺 喜直

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

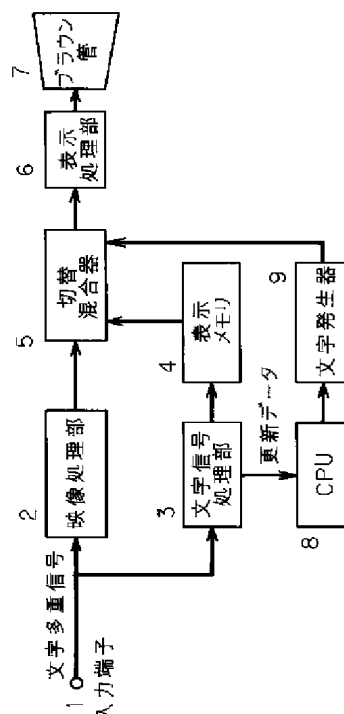
(74)代理人 弁理士 滝本 智之 (外1名)

(54)【発明の名称】 文字放送受信機

(57)【要約】

【目的】 特定の文字放送番組の開始及び内容更新を検出し、画面に表示して、受像番組以外の緊急時の放送が開始されたり更新されたとき告知を行う。

【構成】 入力端子1に入力された文字多重信号は文字信号処理部3に入力され文字信号処理された後、表示メモリ4に記憶され必要に応じて切換混合器5に入力される。文字信号処理部3では、あらかじめ登録しておいた番組番号の内容が更新された時、更新データがCPU8に送られ、文字発生器9で更新されたことを知らせる表示文を作成し、切換混合器5に入力される。切換混合器5では、映像と文字を選択あるいは混合する。この時番組の開始や内容更新があれば、文字発生器9で作成された表示文が選択される。この選択あるいは混合された信号は表示処理部6で処理されてブラウン管7に表示される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 文字放送番組番号を登録する手段と、登録した番組が放送されたことを認識する手段、登録した番組内容が更新されたことを認識する手段を備え、前記登録した番組の放送の開始及び内容の更新を画面に表示する機能を備えた文字放送受信機。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は特定の番組の開始及び内容更新を画面に表示する文字放送受信機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、文字放送は各放送局から様々な番組が放送されており、都市部においては100を超える番組が放送されている。文字番組の多くは、非一括形、反復形で一番組が数ページから数十ページで構成されていて、10～20秒の間隔で順番に送られている。ニュースなどの番組は、その中で逐次最新の情報に差し替えられて行く。従来の文字放送受信機の受信方法は、選んだ番組が送られてくるまで待つか、番組をメモリに記憶させておき、その中から見たい番組を呼び出すことになる。また、番組を選んだ際にそのページが以前のものから更新されていれば、画面に表示する機能をもったものもある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら上記のような構成では、1番組を受像しているときに他の番組の開始や内容更新を認識できないので、緊急時の放送や、時宜を得た情報を受信することは困難であるという問題を有していた。

【0004】 本発明は、上記問題に鑑み、受像番組以外の特定期間の開始及び内容更新を検出し画面に表示する文字放送受信機を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記問題を解決するために本発明の文字放送受信機は、文字放送番組番号を登録する手段と、登録した番組が放送されたことを認識する手段及び登録した番組内容が更新されたことを認識する手段を備え、前記登録した番組の放送の開始及び内容の更新を画面に表示する機能を備えたものである。

【0006】

【作用】 上記の様な構成によれば、番組を受像中でも登録してある番組が開始されたり放送内容が更新された時には画面上に表示することによって、新たな情報を素早く得ることができる。

【0007】

【実施例】 以下、本発明の一実施例における文字放送受

信機について図面を用いて説明する。図1は本発明の一実施例における文字放送受信機のブロック図である。

【0008】 図1において、1は文字多重信号を入力する入力端子、2は映像信号を処理する映像処理部、3は文字信号処理部、4は文字データを記憶しておく表示メモリ、5は表示する画像を切換える切換混合器、6は切換混合器5から出力される信号をブラウン管7に表示するための表示処理部、8は番組開始や更新のデータを受け取ると文字発生器9及び切換混合器5を制御するCPUである。

【0009】 以上のように構成された本発明の一実施例における文字放送受信機の動作について説明する。まず、入力端子1から入力された文字多重信号は、映像信号として映像処理部2で処理され切換混合器5に入力される。一方、文字多重信号は文字信号処理部にも入力され文字信号処理され、表示メモリに記憶され必要に応じて切換混合器5に入力される。文字信号処理部では、あらかじめ登録しておいた番組番号の内容が更新された時、更新データがCPU8に送られ、文字発生器9で更新されたことを知らせる表示文を作成し、切換混合器5に入力される。切換混合器5では、映像と文字を選択あるいは混合する。この時番組の開始や内容更新があれば、文字発生器9で作成された表示文が選択される。この選択あるいは混合された信号は表示処理部6で処理されてブラウン管7に表示される。

【0010】

【発明の効果】 以上のように本発明によれば、文字放送番組番号を登録する手段と、登録した番組が放送されたことを認識する手段、登録した番組内容が更新されたことを認識する手段を備え、前記登録した番組の放送の開始及び内容の更新が行われたとき画面に表示する機能を備えることにより、他の文字番組を見ているときにも最新の文字情報が送られてきたことをすぐに認識することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例における文字放送受信機のブロック図

【符号の説明】

- 1 文字多重信号入力端子
- 2 映像処理部
- 3 文字信号処理部
- 4 表示メモリ
- 5 切換混合器
- 6 表示処理部
- 7 ブラウン管
- 8 CPU
- 9 文字発生器

【図1】

